



# くりはら 市議会だより

第79号

令和5年11月16日

令和4年度

まちづくりの決算を認定 2頁

決算審査 ここが聞きたい 4頁

一般質問 キャンプ場の運営など18人が登壇 9頁

「私もひとこと」

後藤 忠義さん(鶯沢)・近藤 富士子さん(金成) 18頁

「結」

(写真提供 迫桜高校写真部)

# 令和4年度 決算 認定



令和4年度決算の審議状況

9月定例議会は、9月12日から10月4日までの23日間の会期で開かれました。一般質問には18人の議員が登壇し、市政全般にわたって論戦を展開しました。また、「栗原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する条例」の一部改正条例や、補正予算などを審議し原案のとおり可決しました。令和4年度の一般会計、特別会計、事業会計の決算は、決算特別委員会を設置し集中審査の結果、原案のとおり認定しました。

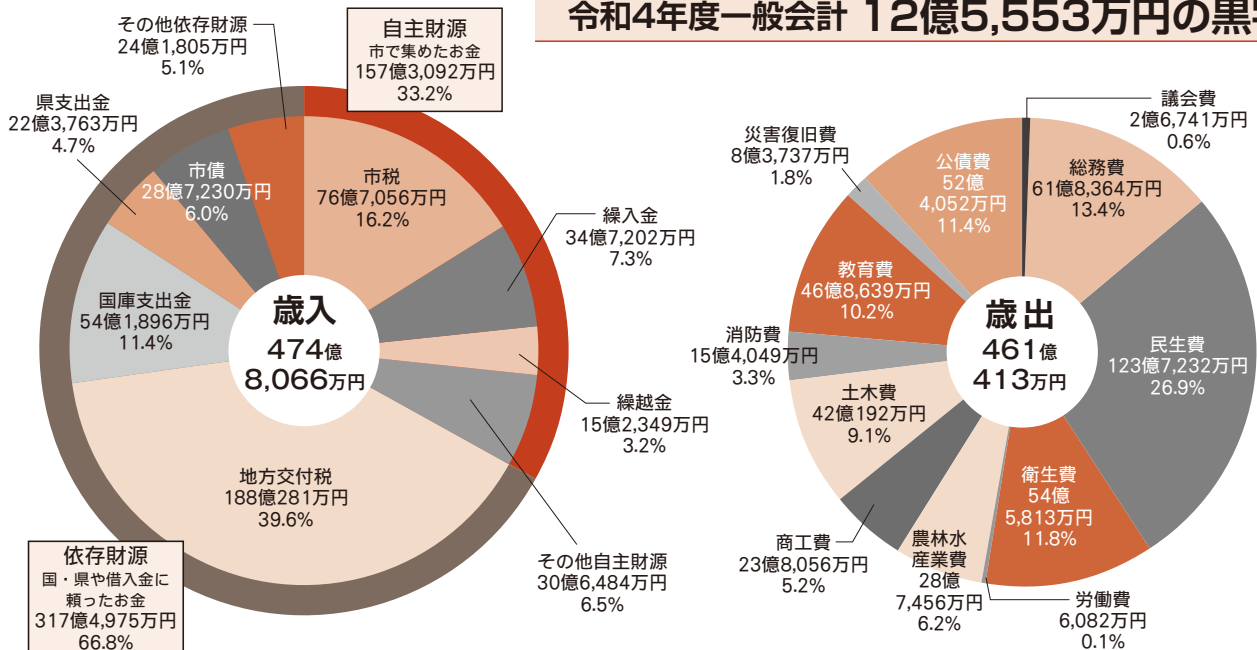
## 令和4年度 一般会計の決算

歳入は、令和3年度に比べ、市税は2億93389万円増の76億7056万円。地方交付税は、1億2385万円減の188億281万円。県支出金は、6億7483万円減の22億3763万円。市債は、18億1100万円減の28億7230万円となりました。

歳入は、総務費において、公共施設などを計画的に管理することを目的とする公共施設最適化事業などに1億61億8364万円。民生費は、妊婦、出生の届出をおこなった世帯などに対し、出産育児関連用品の購入費用助成を目的とする出産・子育て応援給付金支給事業などにより123億7232万円。教育費は、学校給食センター1改修等事業、少人数学級推進事業などにより46億8639万円となりました。

歳入歳出の差引額は、13億7653万円となります。翌年度への繰越額が1億2100万円、実質収支は、12億5553万円の黒字となりました。

## 令和4年度一般会計 12億5,553万円の黒字



# ピックアップ

## 一般会計 議会の決算を見る

※市民1人当たりの支出額は令和5年3月末現在の栗原市の人口で計算しています。

議会インターネット  
中継委託料 175万円

市民1人当たり支出額  
28円

費用弁償  
412万円

市民1人当たり支出額  
66円

議員報酬  
1億5,215万円

市民1人当たり支出額  
2,428円

議会だより  
439万円

市民1人当たり支出額  
70円

### 令和4年度「政務活動費」の収支一覧表

(単位：円)

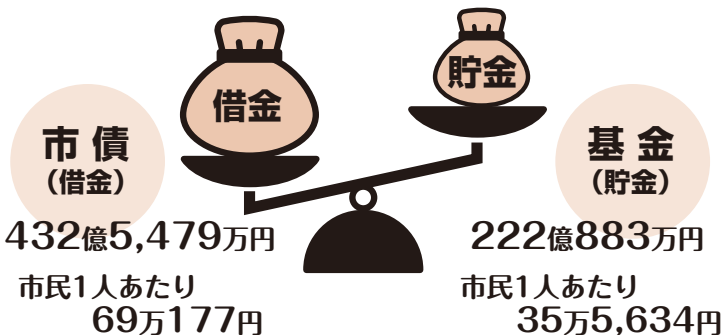
会派または議員名	市民くりはら	新清流	政策フォーラム	立憲・社民フォーラム栗原	五十嵐勇	三浦善浩	尾形勝通	菊地広志 ※会派所属	菅原麻紀 ※会派所属	合計	
人数	6人	5人	4人	2人	1人	1人	1人	(1人)	(1人)	20人	
交付決定額(当初)	1,200,000	1,200,000	1,200,000	600,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	5,700,000	
交付決定額(最終)	1,200,000	1,350,000	1,200,000	600,000	300,000	300,000	300,000	100,000	125,000	5,475,000	
支出項目	調査研究費	388,975	436,860	269,490		97,986	0	105,176	7,300	114,354	1,420,141
	研修費		33,270				61,540				94,810
	資料購入費		11,110				103,540	14,108			128,758
	事務費			26,856	26,856						53,712
支出額	388,975	481,240	296,346	26,856	97,986	165,080	119,284	7,300	114,354	1,697,421	
返還額	811,025	868,760	903,654	573,144	202,014	134,920	180,716	92,700	10,646	3,777,579	

- ・令和4年度は、資料作成費、広報広聴費、会議費、人件費、要請・陳情活動費に対するの支出はありませんでした。
- ・栗原市では申請を行った会派に、議員1人あたり月額2万5,000円を交付しており、使わなかった金額は年度末に返還することになります。
- ・日本共産党栗原市議団は政務活動費を申請していません。
- ・菊地広志議員、菅原麻紀議員は年度途中で会派に所属したため所属前に支出した金額が計上されています。

#### 一般会計

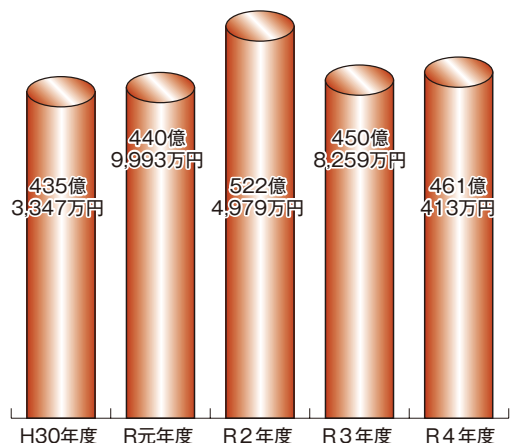
### 市債(借金)と基金(貯金)の状況

令和5年3月末人口：6万2,672人



※金額などは市の決算概要より引用しています。  
※市債は国の交付税が算入(339億9,470万円)される分も含まれています。

### 5年間の一般会計歳出決算の推移



# 決算審査

## ここが聞きたい



相馬勝義 委員長

### 歳入



**問** コロナの影響で税収減だというのが、どのくらい減収になったか。

**答** 前年度より5800万円減っている。要因としては、米価の下落と持続化給付金の終了によるものであると考える。

**問** 固定資産税収入が増えている要因は何か。

**答** 中小企業の固定資産軽減措置が令和3年度のみであったため、令和4年度は8200万円の増額となっている。

### 歳入



**問** 立木売り払い収入となる市有林は植林をしているのか。

**答** 市所有の森林は5年計画で植林している。

**問** 令和4年度の当初予算は4000万円だが、決算額は640万円となった。要因は何か。

**答** 一迫、花山地区を間伐予定だったが、入札不調だったためである。収入額は令和3年度に間伐し、令和4年度に販売された分である。

### 生活



**問** 道路の舗装打換や穴の開いたところは、すぐ対応できる仕組みか。

**答** 危険箇所については、情報提供することができ、本庁や支所でもすぐ対応できるようにしている。

**問** カーブミラーの設置箇所や件数は決まっているのか。

**答** 設置箇所は4月に区長に聞き取り、警察と相談の上、現地確認をして決め、件数は決まっていない。

### ふるさと納税



**問** 全国的に令和3年度より令和4年度が1.2倍の件数、金額になっているが、栗原市は予算に比べて3000万円の減額になっている理由は何か。

**答** 返礼品の数や種類が少ないこと、窓口となるポータルサイトも少ないとも感じている。令和5年4月より事業者に直接行って、参加してもらえよう努力している。また、新しいポータルサイトの協議も重ねている。

教育



**問** 基準以外でスクールの乗車を認めている学校数、人数はどのくらいか。

**答** ほぼすべての学校で認めている。人数は148人(学校再編による人数も含む)である。

**問** 距離数は決まっているのか。特例はあるのか。

**答** 基本的に距離数は決まっているが、構成している集落単位でしっかり調べて細かく決めている。

公園



**問** 公園の除草作業はどこが窓口になっているか。頻度はどの程度か。

**答** 窓口は各総合支所となっている。大きさにより異なるが、年に2、3回は、刈り取り作業をしている。

**問** 天気により草刈りの頻度が変わると思うが、遠隔操作ができる草刈りロボットなどを購入する予定はないのか。

**答** 現在、購入予定はないが、検討したいと思う。

観光



**問** WiFi設置は何か所になるか。

**答** ハイムザーム栗駒、くりこまコテージ、温湯山荘、花山少年旅行村(コテージ、キャンプ場)延年閣の6か所になる。

**問** CMの観光プロモーションの電波料金はいくらで、いつまで放映した分なのか。

**答** 550万円で9月から1月までの放映分になる。

子育て



**問** 特定不妊治療が対象になった人数はどれくらいか。

**答** 延べ15人であり、実人数は14人である。

**問** 赤ちゃん用品助成金の金額はいくらか。また、どのような形で助成しているのか。

**答** 3000円のクーポン券で12か月分を助成している。券の額面以下だとおつりが出ない形である。

決算

審査意見

代表監査委員 武田 孝一

令和4年度は、「市民が創るくらしたい栗原」の実現に向け、子育て施策、教育環境の整備などのほか引き続き新型コロナウイルス感染症対策事業に取り組みました。

近年、人口減少や少子高齢化の進行により、農業従事者の高齢化や商業従事者の後継者不足による空き店舗等の増加、さらには地域コミュニティの存続が困難になりつつある状況も見受けられる。行政のみでは解決できない課題が山積している現状であり、市民との協働による取り組みがますます必要となっている。

このような状況の中、厳しい財政運営は、今後とも予想されることから、市民と行政が相互理解のもと、市民協働によるまちづくりを推進する仕組みを確立し、「市民が創るくらしたい栗原」の実現を目指して第2次総合計画後期基本計画に基づく事業推進に期待する。

財政状況は、財源の確保や、事業の選択と集中により、確実に健全化が図られてきた。令和4年度は、健全化判断比率のさらなる改善が見られたもののエネルギーや物価高騰の影響から、光熱水費などの管理費が増加している。そのため、今後とも厳しい財政状況となることとが予想される。将来にわたり安定的な財政運営が行えるよう、「第3次栗原市行政改革大綱」による取り組みを着実に実行し、必要な財源の確保、事業の見直しや選択と集中による歳出の重点化に一層努められたい。

## 指定管理施設

# 光熱費の高騰に支援金



対象となる大規模施設

9月定例議会では、指定管理施設の光熱費高騰支援金の関連予算として4000万円を追加するなど、一般会計の補正予算14億7535万円を可決しました。議会は、指定管理施設の光熱費高騰支援金については、意見をつけることとしました。

**指定管理施設光熱費  
高騰支援金  
4000万円**

**問** 指定管理施設への高騰支援金について対象施設は何箇所か。

**答** 指定管理料を支出している施設が対象で52施設ある。

**問** 小規模な施設でも影響があるのにも関わらず、10万円未満の影響額を対象外とする理由は。

**答** 直ちに管理運営が継続できなくなる状態ではないという考えから対象外としている。

**問** 不平等な取り扱いや感じるがいかがかと感じるが、制度の詳細については、委員の意見を踏まえて検討していきたい。

**答** 制度の詳細については、委員の意見を踏まえて検討していきたい。

### 審査意見

「交付にあたっては、指定管理者側からの不公平感が生じないように交付基準を明確化するとともに、早急に交付すること。」と意見をつけて可決しました。

## 小・中学校に 防犯カメラ、門扉などの設置



車両進入防止のポール

若柳小学校での、不法侵入を受け、各小・中学校に防犯カメラ、門扉などの設置工事を追加しました。

幼稚園防犯カメラ  
門扉等設置工事

560万円

小学校防犯カメラ  
門扉等設置工事

2500万円

中学校防犯カメラ  
門扉等設置工事

1500万円

**放課後児童クラブ  
1億3000万円返還**

国では、放課後児童クラブを運営するための財源である「子ども・子育て支援交付金」を会計検査院が調査した結果「交付金が過大に交付されている自治体が相当ある」との指摘を受けた。市では、確認した結果、交付金が始まった平成28年度から令和4年度までで1億3000万円ほどが返還となる。交付金制度の内容について、一部理解不足があったことが主な要因である。

## 人事

**人権擁護委員  
6人を同意**

人権擁護委員の任期が、令和5年12月31日で満了になります。

議会は、候補者の推薦に意見を求められ、次の6人に同意しました。(敬称略)

川田 聡 (築館)

石川 恵久子 (栗駒)

狩野 孝信 (築館)

栗石 孝志 (築館)

山田 祐子 (瀬峰)

工藤 勝也 (金成)

### 人権擁護委員とは

法に基づいて人権相談を受けたり、人権について関心を持ってもらえるような啓発活動をしています。

# 条例

9月定例議会で可決した条例について主な内容をお知らせします。

**栗原市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例**

コンビニエンスストアなどの多機能端末機による印鑑登録証明書の交付について、個人番号カードに加え、移動端末整備（スマートフォン）による交付を可能とする改正を行いました。

**栗原市放課後児童クラブ設置条例の一部を改正する条例**

若柳放課後児童クラブの位置を現若柳小学校から旧若柳幼稚園に変更することに伴い条例改正を行いました。

**栗原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例**

職員の体制内容について、利用者が20人未満となる時間帯及び曜日において、市が定める利用者の安全確保策を講じている場合には、放課後児童支援員の数を1人とすることを可能とする特例を追加しました。



## デジタル化でさらなる市民サービスの向上へ

### 総務常任委員会

7月31日



委員会は職員の調査を求める

市のデジタル化について調査しました。

#### 調査の結果

令和3年度からRPA<sup>\*1</sup>やAI-OCR<sup>\*2</sup>、AI議事録システムを活用し、業務の効率化を図り、市民サービスの向上と職員の負担軽減を図っています。また、書かない、待たない、行かない窓口により市民の利便性向上を図ろうとしています。が、使える人と、使えない人との差が生じないように支援体制にするべきです。

さらに、市のデジタル化に向け、職員の意識を高めるよう努めるべきです。

#### さらなる利便性の確保を

地域公共交通について調査しました。

#### 調査の結果

現在の地域公共交通は広域路線、市内連携路線、地域内路線（乗合デマンド交通）の3本柱で運営しているものの、乗合デマンド交通の利用者の低迷および地区外運行や休日運行の要望など課題を抱えています。一方で、乗合デマンド交通の地区外運行については、代替案としてタクシー利用助成事業を市内4地区で試験的に行い、今後は全地域で展開しようと検討も進められています。

今後も地域公共交通を維持するため、事業費の抑制と適正な運賃の見直しも考えながら、これからも子どもたちや高齢者といった交通弱者にも配慮した運行形態のあり方や、さらなる利便性に努めるべきです。

#### ひとくちメモ

※1

#### RPA

RPAとは、パソコンを使った定型作業をソフトウェアのロボットに代行させる技術のことを言います。

※2

#### AI-OCR

手書きの申請書やアンケートなどをスキャナーで読み取り、書かれた文字を高精度でデータ化させる技術のことを言います。

※3

#### AI議事録システム

AI（人工知能）が音声を読み込み、自動でテキスト化をして、議事録を効率よく作成や編集をすることができる技術のことを言います。



# 農家所得の確保に向けた 農業政策の推進を

## 産業建設常任委員会

8月2日



キャンプ場整備予定地を調査

令和5年産米の作付状況について調査しました。  
**調査の結果**  
令和5年4月末現在における生産の目安に対する計画生産数量は、面積換算で683ヘクタールの作付超過でありました。  
新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う行動制限の解除などにより外食向けの需要は回復しているものの、人口減少などの影響により、さらなる米需要の減少が予想されています。

このことから、農家の所得確保のため消費者ニーズに対応した的確な需給調整を実施するとともに、安定的かつ継続的な経営を可能とする農業政策の推進を求めます。

### 魅力的なキャンプ場整備に向けて

キャンプ場について調査しました。

### 調査の結果

栗駒山の自然や山脈ハウスなど周囲の観光施設を最大限に活用するとともに、周辺観光地を回遊する滞在型観光につなげることも可能であることから、栗駒耕英地区に整備を計画し、令和4年度には敷地の測量を完了しています。

今後、民間事業者のノウハウも積極的に活用し、関係団体や観光事業者、栗駒耕英地区の人たちとの協議を重ねてキャンプ場の整備に取り組むこととしていますが、しっかりと事業の採算性や継続性を分析し、うえで、魅力的なキャンプ場の整備に努めるべきです。



市内の埋蔵文化財を調査

# 歴史的遺産を 後世に継承すべき

## 文教民生常任委員会

8月9日

埋蔵文化財について調査しました。

### 調査の結果

一迫埋蔵文化財センターでは、定期的に発掘調査展を開催し、貴重な遺跡や出土品を広く公開しています。是非、学校教育の現場で活用し、小・中学生に地域の魅力を発見する機会を提供するとともに、歴史的遺産を適切に保護しながら、後世に継承できるよう努めてほしいと考えます。

### 早急に民俗資料館の整備に着手を

民俗資料館について調査しました。

### 調査の結果

市内各施設の民俗資料は、旧富野小学校に集約され保管してあります。施設の改修を最小限に抑える計画で、現在保管されている資料に関しては、専門家の意見や聴くなどにより、早急に民俗資料館の整備に着手するよう努めてほしいと考えます。

### 学校解体の場合は十分な協議を

閉校した小・中学校所蔵品について調査しました。

### 調査の結果

市内では学校再編が行われ現在、小学校11校、中学校6校となり、金成小中学校は、義務教育学校として設置されています。

閉校した小・中学校で、仮に解体が決定された場合は、学校関係者やPTAの人々と所蔵品を処分するものや移管するものなど、その取扱いを十分に協議して進めてほしいと考えます。





## 教員の働き方改革は進んでいるか

### 教育長／業務の役割分担・適正化を実行



あべ さだみつ 議員 阿部 貞光

**議員** 教員の多忙化や長時間労働などが課題とされているが内容は。

**教育長** 日々の教育活動に加え国が進めるGIGAスクール構想への対応や各種調査の取りまとめなど、業務が多岐にわたっている。

**議員** 働き方改革取組方針の進捗状況と教育委員会が行ってきた支援を聞く。

**教育長** 学校支援システムを導入し出席簿・通信票などをデジタル化や押印の廃止、メールを活用した簡易な報告など業務の軽減を図っている。また、部活動は外部指導者の配置やスポーツ少年団などの活動は公務外である事を明確に位置付け、部活動顧問の負担軽減を図っている。さらに、定



子どもたちと触れ合う時間適切か

時退庁日や夏季休業日に3日間の一斉閉庁日を設けるなど教職員の働き方に対する意識の醸成を図っている。支援として少人数学級の推進や学校補助員、ALTの配置を行う支援や公務のICT化などの環境整備をおこなっている。

**議員** 教員と連携し役割を果たす支援スタッフの配置基準と配置状況、予算措置を聞く。

**教育長** 宮城県が令和2年度・3年度に若柳に2人配置し、令和4年度以降は配置されていない。市教育委員会ですべて必要な生徒の学習面・生活面の支援を目的に学校補助員を小学校12校に34人、中学校7校に12人、合計46人配置している。配置基準は翌年度に必要なスタッフを各学校の状況を調査し、配置する職種および人員を決定している。予算は合計で約9232万円となっている。

## 遊休農地、荒廃農地を活用せよ

### 市長／農地の維持管理の仕組み検討



すがわら まき 議員 菅原 麻紀



持続可能な農業を考えるとき

**議員** 遊休農地や荒廃農地をどのように活動しているのは理解するが、稲作以外の畑作で、企業誘致を考えているのか。例えば、学校給食で使う食材を買い上げる前提で作る人を募集しているか。

**市長** 企業としての農業は稲作などで取り組まれている。学校給食は食材を安定的に提供することが大事であり、小規模でもしっかりと生産できる体制を作る農業があってもいいかなと思う。

### 女性消防団の役割を明確に

**議員** 女性消防団の活動において課題が存在し、意見交換や情報共有が必要と考

えるが、栗原市全体で统一的な活動することは可能か。また幼稚園、小学校、中学校に広報活動することは可能か。

**市長** 意見交換会は3月にあって、内容については各総合支所に議事録を送付し、各地区消防団幹部会議にて説明をして改めて周知を図ることとしている。

広報活動についてはこれまで消防団が市内中学校の防災訓練に関わった実績もある。機会を増やすよう関係機関と協議し防災意識の向上を図っていく。

他に若柳病院の混雑についてと若年層に対する議員や議会政治に関する教育について質問した。



佐藤 千昭 議員



# きょうあい 狭隘で急カーブ、危険な浅布地内

## 市長／引き続き早期整備に取り組む



改良が進まない398号浅布地内

**議員** 国道398号花山地  
区の浅布地内の約1000  
坪の区間は狭隘で大変危険  
な道である。また、ダム周  
辺地内は、急カーブで、上  
層木が道路を覆い、立木で  
トンネル状態の場所もあり、  
冬の凍結期間が長い。地区  
民の通勤、通学路である。  
国、県への要望を聞きたい。

**市長** 浅布の狭隘な区間の  
拡幅は「引き続き早期整備  
に取り組む」との回答を得  
ている。ダム周辺の道路支  
障木は数年前伐採をしてい  
るが、適切な維持管理に努  
めていく。除雪は作業効率  
の良い除雪機械で除雪を行  
う。通行の安全・万全を期  
すよう要望していく。

**議員** 国や県に強力に要望  
することを願いたい。  
**市長** 土木事務所を通して  
しっかりと要望していく。

**議員** 中学生の青空大使派  
遣事業を中止しているが、  
再開すべきである。  
**市長** 令和6年度当初予算  
に計上、6年度に派遣した  
い。派遣先は友好姉妹都市  
台湾南投市を検討している。

**議員** AIを活用した、み  
やぎ結婚支援センター「み  
やマリ」が開設された。市  
でも加入促進を図るため入  
会者に助成をしている。入  
会に向けてPRをすべき。  
**市長** 婚活事業は継続的に  
取り組む必要があり、周知  
が足りないと思っている。  
さらなる周知を図ってまい  
りたい。

### AIで婚活 PRと支援を

### 青空大使派遣 事業の再開を



# 志波姫幼稚園の駐車場整備

## 市長／防犯灯などの安全対策を実施



相馬 勝義 議員



子ども達の安全が第一

**議員** 幼稚園、保育所共用  
の駐車場として、整備が必  
要とされているがどうか。  
**市長** 要望書も提出され、  
話し合いもされているが、  
歩道の拡幅や防犯灯の設置  
を行い、安全対策を行う。

**議員** 施設の修繕、機器の  
管理のうえでも危険な状況  
で方針を継続、検討してい  
く。  
**市長** 第8次地域医療計画  
で方針を継続、検討してい  
る。  
**議員** 飼料の高騰に頭を抱  
えている現状への考えは。  
**市長** 緊急支援事業による  
対策を実施している。今後  
国、県の補正予算や支援制

**議員** 萩野診療所の  
その後の対策  
**議員** 結婚の取り組みを  
実施していくなかで、ネット  
の安心、安全な活用を支  
援するなど前向きな活動は。  
**市長** 県ではAIを活用し  
たマッチングシステムを導  
入し「みやマリ」を開設。  
市でも利用促進を図る助成  
を実施。また、栗原、登米、  
一関、平泉の合同事業とし  
ての婚活を今年も実施予定。



なにこれ ※みやマリー宮城県で結婚を希望する独身男女を支援するため、AIを活用したマッチングシステムのこと。



## 人事院勧告の完全実施を求める

### 市長／法律の改正を踏まえ実施する



市長 佐藤 悟 議員

**議員** 令和4年度人事院勧告は、行政職で平均0・96%、3869円、期末手当0・1か月増の4・5か月分の勧告をおこなった。初



市民の幸せのために全力投球を

任給は、高卒1万2000円、大卒1万1000円増しとし、さらに在宅勤務手当を新設し、月10日超えて月額3000円とした。  
 ①人事院勧告の基本認識・完全実施を求めるがどうか  
 ②会計年度任用職員に対し、人事院勧告に準じて支給すべきである。  
 ③市のラスパイレース指数は

**市長** 東京電力や国は、放射性物質の測定や、海洋モニタリング調査による状況を公表するなど、風評対策に取り組んでいる。国の責任の下、水産業、各産業への風評対策を早急に講じる必要がある。

## 処理水放出 深刻な影響

**議員** トリチウム処理水134万トンのうち、1日460トンを出した。中国・香港・台湾など7か国が水産物の輸入禁止をおこなった。風評被害など市民生活に深刻な影響を与える。どう受け止めているか。

引き上げるべきである。  
**市長** ①国公準拠を基本とし、法律の改正が行われた場合は、国に準じて実施する。  
 ②一般職の職員と同様の改定を予定している。  
 ③94・3であり、仙台市を除く県内市13市中、10番目である。改善を検討する。

## キャンプ場計画、愛好者の声を

### 市長／10月にモニターキャンプを計画



議員 高橋 勝男



栗駒キャンプ場建設予定土地

**議員** 令和7年度オープン予定の栗駒キャンプ場は、画は、専門家や地元愛好者などの意見を踏まえ検討するので遅れる見込みで、キャンプ場はテントが張れるフリースペースやキャンプングカーなどが利用できる施設を考えている。  
**議員** 市内のキャンプ愛好者やキャンピングカー所有者との連携が必要と思うが、市内のキャンプ愛好

者やキャンピングカー所有者からの意見は重要である。整備予定地の栗駒耕英の山脈ハウスで、キャンプ愛好者、キャンピングカーユーザーに向けたモニターキャンプを10月に計画している。  
**議員** 現在ある温泉施設やトイレ、駐車場を活用し、キャンピングカー、RV車を対象にした施設の先行オープンをさせるべきでは。  
**市長** 比較的安価な初期投資で可能と考えるので、モニターキャンプの参加者や日本RV協会からの意見を含め検討する。  
**議員** 栗原市全国大会等参加補助金は、予選を経て全国や東北大会に参加する児童生徒を中心に参加費と宿泊費、交通費を補助する制度であるが、負けた日の宿泊費は補助対象外になっている。当日キャンセル扱いで、全額個人負担になっているが、負けた日も補助対象にすべきである。  
**教育長** 前泊が必要な場合などは補助の対象にしているので当日中に帰宅が困難な場合には、競技終了日の宿泊も補助対象にするよう検討する。



さとう ひさよし 市長 久義 議員



## 建物の改善命令に所有者の対応は 市長／行政代執行に基づき手続きを行う



岩ヶ崎中心部の荒廃した建物

**議員** 岩ヶ崎地区にある建物が荒れ放題になっている。令和4年12月議会で空き家対策の件を質問しているが、多くの市民から一日でも早く対策を取るよう強い要望がある。栗原市では、所有者に令和5年8月15日の期限をつけて強制力のある改善命令を出しているが、所有者が守っていないのはなぜか。

**市長** 市では度重なる改善命令を出しているが、所有者は、資金がなく改善が出来ない返答である。今後、

市では行政代執行法に基づいて手続きを行う。

**議員** 行政代執行の時期はいつか。解体費用の捻出はどこからか。

**市長** 本年度に解体設計を行い、令和6年7月中旬に着手する。解体費用は、建物所有者に全額請求する。

**悪臭水路を早期に改善せよ**

**議員** 岩ヶ崎八日町裏通りの排水路が悪臭で市民から苦情が多くある。悪臭の原因は、先人が設計した水路を変更したためであり、早期に元の水路に戻すべきである。

**市長** 現況の排水ルートなどを確認し対策を検討する。支障木については、所有者と早期に相談して対応する。

**旧くりでん軌道敷の管理は**

**議員** くりでん敷地内の除草処理とレールの売り払いは考えないか。

**市長** 駅跡や住宅周辺を除草は、必要に応じて行う。レールの売り払いは、撤去費用が売却金額より高いため売却は考えない。



## 避難ノードを作成しては

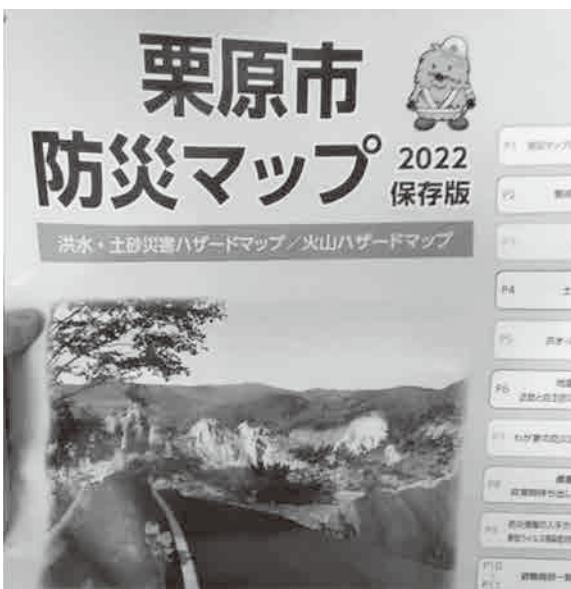
### 市長／防災マップなどに網羅している



みうら よしひろ 議員 三浦 善浩

**議員** 今年も全国の各地で災害が発生している。残念ではあるが、自然災害を防ぐことは非常に難しい。常日頃から、家族や地域などで話し合いを持つことで少しでも被害を減らしていく

**市長** ①地域においては、ことが重要と考える。①家族や地域などで災害についての話し合いを持つ機会は、どの程度おこなわれているか。その現状はどうなのか。②災害時に取るべき行動や、必要な備蓄品、災害時の避難場所や連絡手段など家族で相談して記入したりする（仮称）くりはら避難ノードを作成して配布する事業を導入してはどうか。



栗原市防災マップ2022保存版

自主防災組織を中心とした防災訓練、移動市民セミナーなどを活用した研修や地域の防災マップ作成などを通じて、地域防災についての話し合いを持つ機会が生まれ、防災意識の向上が図られている。また、家庭においては、令和3年4月に每户配布した栗原市防災マップ2022保存版や、毎年大雨や台風に備えた防災に関する每户チラシの活用により、防災意識の浸透が図られていると考える。

②防災マップは、ちよっと大きいのが、情報を網羅するために現在の姿になっている。例えば、防災に関する每户チラシの裏面に記載するとかも、一つの方法だと思っただけ。

他に、◎どうなった、地域通貨事業。◎どうする人口減少対策。◎地域行事の継続、継承は、についての質問をした。



## 市の体育施設への冷房設置を求む

### 市長／年次計画を立てて冷房を設置する



きくち ひろし 議員  
菊地 広志

が年次計画を立てて設置すべきと考えている。また各自治会の集会所にも、来年度新規事業として冷房装置の設置補助事業を検討中である。

**議員** 第3期栗原市スポーツ推進計画では、市民の意見を基に課題解決に向けて取り組むとあるが、早急に体育施設の冷房設備の充実を図らなければならないと思うが。

**市長** 体育施設の冷房関係は、すぐに全部は出来ない

**議員** 市内の公民館や公共施設、観光地では公衆無線LANが使えない。公民館でパソコン教室を開いてもWiFiが使えず苦労しているとの事だ。また観光客からも栗原市では公衆無線LANが無いので、電波



冷房導入が待たれるアスパル若柳

が入りづらい場所では苦勞するとの話もある。設置すれば市民の利便性も上がり、観光客も喜ぶと思うのだが。

**市長** 栗原市のDX推進計画を策定している。現時点ではまだ入っていないが、公共無線WiFiの設置予定を組み込み、公共施設や観光地で無料WiFiが使えるよう具体的に積算し、出来れば来年度当初あたりから随時設置していく。

**議員** 伊豆沼や内沼の環境保全に努めていると聞くが、不法投棄などの通報や相談などはこれまでにあったか。

**市長** 不法投棄は廃棄物を投棄する事で全く駄目だとの認識である。市に通報があった場合は、担当職員が現場確認を行い、投棄の現状に関しては、罰則規定もあるので警察にも通報している。

その他、市民満足度重視のサービス、ドライブレコーダーの設置状況を質した。

## 地の利を活かし「道の駅」設置を

### 市長／効果を見極め検討



いしかわ しょううん 議員  
石川 正運



交通の要所に3つ目のインターが

**議員** 栗原は、高速交通体系の最も恵まれた地域の良さを最大限に活用し、経済の活性化に継ぐことが極めて重要である。「仮称」栗原インターチェンジが建設される付近に道の駅を設置することで、交流人口が増え、賑わいのあるまちづくりを望むがどうか。

**市長** 道の駅設置は、4号バイパス、栗原インターチ

ェンジ完成後、通行量や移動の目的などを調査し、その効果を見極めて規模や機能を検討すべきと考えている。

### 大丈夫か湖沼の環境とハスは

**議員** 伊豆沼・内沼の水質は4年連続でワーストワンという状況である。水質向上は、汚泥の撤去をしゅんせつで行うことが最大の解決策と思うがどうか。

**市長** 湖底の汚泥対策のしゅんせつは、水質や生態系への改善効果が期待できないばかりか逆に悪化させる可能性があると考えられている。県や伊豆沼・内沼環境財団などと協議をし、自然再生を推進していける体制を作っていく。

今年のはすの花は昨年7月の豪雨で沼の水位が上がって開花時期を迎えたハスが、水没で枯れたことや、ハスは本来拡大と消失を繰り返す性質の植物であると報告されている。

今後、ハスを含めた水生植物の適正管理を目指していく。



なにこれ

※しゅんせつ→川や沼などの水底の土砂を掘りとること。



佐々木 嘉郎 議員



# もっと頑張れ ふるさと納税

## 市長／ふるさと納税推進監を配置した



栗原市への寄付のお願い

**議員** 全国からいただいた寄付の状況はどうだ。

**市長** 令和4年度は、3676件で、8543万円。

**議員** 昨年、最も寄付を集めたのは、宮崎県都城市196億円、2位北海道紋別市194億円、3位が北海道根室市176億円。他の自治体も多くの寄付金をいただいている。栗原の返礼品には魅力がないのか。

**市長** 返礼品の種類が少ないと感じている。今年度か

ら、ふるさと納税推進監を配置して掘り起しに力を入れていく。

**議員** これまで危機意識はなかったのか。

**市長** 他の自治体は、10億円単位だったため、危機感を持ち推進監を配置した。返礼品の発信力に欠けていたと感じている。

**議員** 湯浜温泉、温湯温泉、佐藤旅館、ハイルザーム栗駒、くりこま荘は栗駒山麓の温泉としてペア宿泊券を返礼品に加えてはどうか。

**市長** 宿泊券の返礼品は、広報くりはらや、市の公式ウェブサイトでも周知している。

**議員** 瀬峰飛行場からヘリでのフライトは素晴らしい返礼品になるはずでは。

**市長** 非常に魅力的である。実現に向け、協議を進める。

**議員** 市内の座主・花法・白鷺・遊翠・鶴城などの窯元で作られる器は魅力的な返礼品になる。声掛けをしてみてはどうか。

**市長** 素晴らしい作品である。協力を依頼してみる。他に地域おこし協力隊、マイナンバーカードについて質問した。

**議員** キャンプ場をつくる目的は、市民の社会教育活動の推進のためか、市外から利用者を呼び込んで経済効果を期待するためか。また、市内にある既存のキャンプ場の充実ではなく栗駒



山脈ハウス下のZ模様が予定地



小野 久一 市長



# 「栗駒キャンプ場」どう運営する

## 市長／指定管理料のないものにした

**議員** キャンプ場をつくる目的は、市民の社会教育活動の推進のためか、市外から利用者を呼び込んで経済効果を期待するためか。また、市内にある既存のキャンプ場の充実ではなく栗駒

**議員** 山麓を選定したのはなぜか。

**市長** 高まりを見せるキャンプ需要をとらえ滞在型観光と、観光振興を通じた地域経済の発展につなげることを目的とし、ハイルザーム栗駒、山脈ハウス周辺の拠点が多く、観光客に滞在してもらえ場所と考え選定した。

**議員** 市はキャンプ場建設運営にどう関わるのか。経営に参画したり、指定管理

**市長** 者制度で経営が赤字になった際に補填することはやめ、市は土地を提供し民間事業者に参加してもらうのが最良ではないか。

**議員** 民間の力を活用した公設民営型で指定管理料の負担がないものにした。

**議員** キャンピングカーが大型化しているが、現在の県道、市道で交通に支障はないか。

**市長** 観光バスのすれ違いに苦慮している現状であり、県道改良の要望を続ける。

**議員** 栗駒山麓ジオパークについて聞く。認定を受けることによってどんなメリットがあったか、また世界谷地・花山湖・伊豆沼・内沼などをどう連携させていくのか。地すべり地内の見学道路状態が悪いが簡易舗装をすべきでないか。

**市長** 地域防災力の向上や活性化につながった。道路舗装は宮城北部森林管理署と協議・検討していく。

**議員** 山麓を選定したのはなぜか。

**市長** 高まりを見せるキャンプ需要をとらえ滞在型観光と、観光振興を通じた地域経済の発展につなげることを目的とし、ハイルザーム栗駒、山脈ハウス周辺の拠点が多く、観光客に滞在してもらえ場所と考え選定した。

**議員** 市はキャンプ場建設運営にどう関わるのか。経営に参画したり、指定管理



## 带状疱疹ワクチン助成時期は

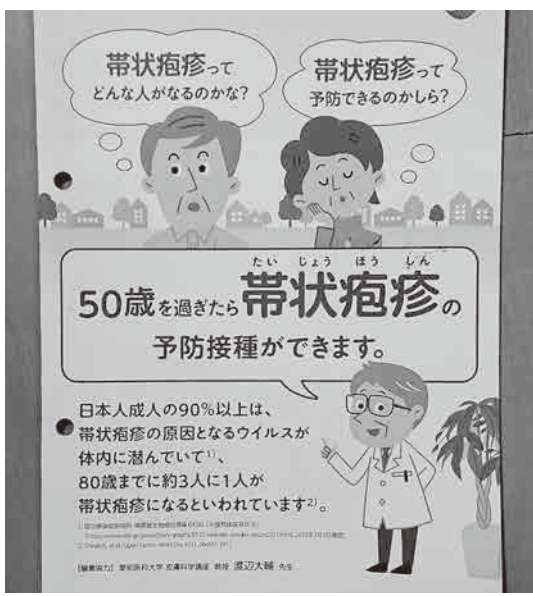
### 市長／来年4月から接種費用助成



菅原 勇喜 議員

**議員** ①市立病院でのワクチン接種状況を把握しているか。②ワクチン接種費用助成の検討はどのように行われているか。③早速の助成実施を求めるがいかがか。

**市長** ①令和3年度5人、令和4年度38人、令和5年度は8月31日現在で29人である。②ワクチン接種助成に向けて、国によるワクチン効果、安全性との評価の動向を注視してきた。8月24日には、栗原市医師会から、「高齢者の带状疱疹ワクチン接種費用への助成制度の創設を求める要望書」が提出された。③令和6年4月から、市単独による带状疱疹ワクチン接種費用助成について、内容の検討をしていく。



50歳を過ぎたら予防接種

## 汚泥肥料 一層の活用を

**議員** ①衛生センターの汚泥肥料は、令和4年度実績で825トンが農地などへ無料で配達、324トンは焼却したとのことである。焼却の場所、年間焼却回数、重油の使用量、金額、中間再生処分場所、処分料はいくらか。②成分の含有量も明示しており、安心して使える有機肥料である。農家に周知宣伝し、残りの324トン全量、農地に還元してはどうか。

**市長** ①衛生センター内の焼却施設で行い、焼却回数は令和4年度で、年46回、重油は約6万リットル、費用は583万円である。業者に処理を委託しており、委託料は、37万5375円となっている。②汚泥肥料の安全性を伝えながら全量を農地還元できるよう努めていく。

## 「栗原創生」は国内外の交流から

### 市長／観光施策に取り組んでいきたい



みつまた あきら 市長



滞在形の観光に向けた事業

**議員** 私は平成30年10月、台湾南投市との産業交流事業に参加した。事業の目的は、栗原市内の産業経済団体の人々と栗原の生産物を紹介し、物産交流の「きっかけ」づくりと、国内・海外の観光の推進につなげる互いの交流を活性化させることとしている。

**市長** そこで、国内・海外の旅行者の増加を好機と捉え、市の経済効果の目標値を設定した、農・商・工を支援する施策を打ち出した、「栗原創成」を考えるべきではないか。

**議員** 田園回帰の流れを止めることなく「農泊」を通し、市の魅力を発信すべきではないか。

## 「農泊での」観光戦略は

**市長** 市は、令和4年3月に「栗原市観光振興ビジョン」を策定した。令和8年度までの具体的な数値目標を設定し、観光客の宿泊者数13万人。外国人の宿泊者数1300人としている。令和5年度は、アジア圏からの旅行者をターゲットに、市内の観光資源や観光ルートなどを、外国人観光客に向け、旅行者から評価・アドバイスをもらい、訪問する外国人の旅行者に選ばれる観光地となるよう観光施策に取り組んでいきたい。

**議員** 平成30年、農泊を推進する「栗原市農泊推進協議会」を設立した。栗原で暮らしてきた人々の生業に着目し、付加価値を付けた体験プログラムなど戦略的におこなっており、JR東日本の中吊り広告で情報発信をしている。

そこで、国内・海外の旅行者の増加を好機と捉え、市の経済効果の目標値を設定した、農・商・工を支援する施策を打ち出した、「栗原創成」を考えるべきではないか。



おがた かつゆき 尾形 勝通 議員



# 地域再生、地域活性化施策を問う

## 市長／「ふるさと再生事業」に取り組む



「栗駒山麓のめぐみ」パンフレット

**議員** 市長は4月の記者会見で、ふるさと財団の補助事業「地域再生マネージャ―事業」に取り組むと発表しました。本事業を遂行する目的と目標は何かを聞く。

**市長** 外部専門家を招致し、「ふるさと再生事業」として、地域住民が、主体となった地域おこしや、地域資源などを活用したビジネスの創出を目的にしている。特に「栗駒山麓のめぐみ」認定商品を磨き上げ、ふるさと納税の返礼品などを増やして、地域再生に取り組んでいく。

**議員** 高清水、瀬峰を流れる小山田川水系は、台風や線状降水帯に非常に弱い構造となっている。市は、水害防止策をどのように図っていくのか。また、線状降水帯に対する防災の備えや、防災の行動指針などを聞く。

**市長** 河川の堆積土砂の撤去は、今年度、高清水の甲牧堀地内の透川で実施中である。被害を最小限に抑え、迅速な回復を図るよう、地域防災計画などを実践し、防災マップの普及活用を推進していく。豪雨時は、避難指示を早め早めに出し「空振り」は良い。見逃しは駄目だ。」これを市長と職員の合言葉にして意思統一している。

**議員** 移住定住政策と農業振興策は、表裏一体と捉えているが、栗原の魅力をさらに高めるため、関係人口のうち農業関連人口を増やす施策と、6次産業化に力を入れた政策を期待するが。

**市長** くりはら産地見学バスツアーなど主催する。また、6次化育成塾を開催し、受講者の中から、6次産品が創られ、商品が育っていく。



令和7年から整備の有賀沢排水路

**議員** 最近の企業は、大規模な工業団地を必要としている。市においても、次期工業団地の整備を進めるべきと思うが、市長の見解を問う。

**市長** 近年の物価高騰により、造成費も多額におよぶ



かづたか 一孝 議員

**議員** ことから、財政上のリスクなども考慮しながら、調査・研究を実施していく。

**議員** 平成17年合併当初の栗原市長は、クラスタ―型のまちづくりを創造していた。今後一極集中ではなく、いくつかに分けたまちづくりを推進してほしいが、市長の見解を問う。

**市長** それぞれの地域を、利便性の高い公共交通で結ぶ「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」を、



# 「くりはら」を目指して

## 市長／市が目指す都市構造を進める

市が目指す都市構造として進める。

**議員** 栗原市の人口を増やすには、行政が住宅地の整備をし、市民に低価格で販売することを提案するが、市長の見解を問う。

**市長** 市の保有する遊休地などを中心に、宅地などの整備を含め、有効活用を検討する。

**議員** 畜産業は、濃厚飼料の高騰などで大変である。さらなる助成が必要と思うが、市長の見解を問う。

**市長** 持続可能な畜産経営に向け、栗原市としてどのような支援が可能か検討する。

**議員** 市道有賀沢線の整備について、受益者から再三その後の事業経過について質問を受ける。必ず実施されたいが、市長の見解を問う。

**市長** 令和7年度、8年度の2か年で実施するよう検討する。





## 火葬場料金の均一化を求む

### 市長／料金ばらつき、協議進める



高橋 将 議員  
たかはし すすむ

**議員** 市内の郷土芸能では次世代への継承に課題が生じている。市の支援が早急に必要であるが、考えを聞く。

**教育長** 市公式LINEでの情報発信や演舞の記録保存を強化する。現場の意見



火葬場の広域連携を推進すべき

を取り入れ、継承に向けた支援策を検討していく。

**議員** 市民が近隣自治体の火葬場を越境して利用した際に料金の負担が大きく異なる。自治体間で均一化へ向け協議を進め解消を図るべきではないか。

**市長** 他の自治体利用時は料金が2倍になる場合もあるが、利用者は一律の料金を望むと感ずるため、協議させる。

**議員** 不妊治療の経済的な

負担があり、特に混合診療における負担が増えている。支援策の導入を求めるがどうか。

**市長** 結婚年齢の上昇などで不妊治療を求める夫婦が増加。市では「このとり応援事業」で保険診療の自己負担に補助をしているが、多くの人が希望する不妊治療を受ける機会を増やすため、先進医療を含めた支援の見直しを検討する。

**議員** 有機農業推進に市の具体的目標と実施計画の策定が必要だがどうか。

**市長** 市の有機農業の目標は国と同様に25%になると思われる。県や新みやぎ農業協同組合と連携し、意見交換と協議を重ね、オーガニックビレッジ宣言に向けた目標と計画を年度中に定めたい。

他に以下の質問をおこなった。子ども体験活動への支援制度、社会教育施設などの施設管理について

## マイナンバーカードをめぐる問題

### 市長／資格確認書を発行



佐藤 文男 議員  
さとう ふみお



カードリーダーで受け付け

**市長** マイナ保険証を保有していないすべての人に対して、申請によらず「資格確認書」の発行・送付を行うこととしている。

**議員** 保険証に有効期限があるが、来年の秋には現在の保険証が廃止される。市では国民健康保険証が更新される場合の有効期限はどのようになるか。

**市長** 経過措置として最長1年、引き続き使用できる。また、マイナンバーカードを取得していない人やマイナ保険証としてひも付けしていない人へは、有効期限を5年以内とする「資格確認書」を発行する予定である。

### 市道姫松金田線 路盤改良を

**議員** 旧姫松小学校から金田川北地区に通ずる市道姫松金田線は一部道路両側が沈下しており、通行する車は対向車がない時は常に中央をまたいで走行しており安全な走行に支障がある。早期に路盤改良をすべきと思うがどうか。

**市長** 有利な財源を活用して工法を含め検討する。



※オーガニックビレッジ→有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取り組みを進める市町村のこと。



## めざそう！ 投票率と自給率アップ

子どものころ、児童会長・生徒会長は、児童・生徒の投票で決めていました。だから、何となく民主主義は、立候補と選挙をすることだと思っていました。そして、その子ども達が、20歳になると選挙に行くものですから、投票率が高かったのです。しかし、最近の投票率は30〜40%前後です。この投票率で、首長や議会議員が選出されているのです。これで本当に民主主義と言えるのでしょうか。

また、この投票率より低いのは、食料自給率の23%です。今の農業従事者は、私のような高齢者が多く、このままでは、今後ますます食料自給率が下がります。皆さん、「めざそう！投票率と自給率アップは栗原から」を進めて行きましょう。



ただよし 忠義さん  
（鶯沢）  
ことう 後藤

# 私もひとこと

## 栗原市へ望むこと



こんどう 富士子さん  
（金成）

皆さんは、栗原市が以前住みたい田舎のベストランキングで東北総合1位に選ばれたことがあることを知っていましたか？移住定住の推進に積極的な市町村を対象に選り、医療や子育て自然環境、そして就労支援や、移住者などを含む項目で選ばれたそうです。今年は、栗駒の山車祭りも盛大に開催され、夜市も大勢の人で賑わいました。私も、祭りの日には、夜店の販売に参加して、地域の人と交流もでき、皆さんから、沢山の元気パワーをいただきました。今後も、福祉の仕事をしながら、地域が持つ魅力を最大限に活用し上手に発信するお手伝いができればと考えています。皆さんのやりたいこと、やれることを応援してくれる栗原であることを望んでいます。

## あとがき

新型コロナウイルス感染症の位置づけが、2類相当から5類になり、半年が過ぎました。イベントが再び開催され、嬉しく思う反面新たな常識が形成され、地区の行事においてもこれまでのやり方とは違う仕掛けが求められます。

議会においても変わりゆく世の中に適応し、市民の声に耳を傾け新しいアイデアを発信する場でありたいと考えます。

変化は新たな可能性をもたらします。市政を共に考えていきましょう。

発行責任者 菅原 麻紀

議長 高橋 渉

広報編集調査特別委員会 委員長 三塚 東

副委員長 菅原 麻紀

委員 佐々木 嘉一郎

委員 小野 久一郎

委員 菊地 広志

委員 高橋 勝男

委員 佐藤 悟

委員 三浦 善浩

委員 菅原 喜